

ひがし

No. 224

'54 7 / 20

人口の動き

—6月末住民登録 人口から

世帯数	954
人口	3,828
転入	4
転出	1
出生	0
死亡	3

先月と比較して増減なし
昨年同月と比較して 33 人減

広報

しらかわ

■ 発行 岐阜県加茂郡東白川村 ■ 編集 / 企画広報課 ■ 印刷 / 関市中部印刷



体育館で コンサート

6月25日、体育館で民音学校コンサートが行われバイオリンの鈴木秀太郎さんとピアノのセイダ・ルガ・鈴木さん夫婦が来村。

小・中学生ら400人余りはすばらしい生演奏に魅了されました。

—6月25日 体育館で

主な内容

- みんなで考えよう省エネの...P2
- 夏の交通事故防止運動...P3
- 少年の主張大会のもよう...P4
- 社会を明るくする運動...P5
- 加茂郡体育大会...P8
- 成人病予防検診...P7
- 母子センターで1,000人目の赤ちゃん誕生...P6
- 加茂郡よい歯のコンクールで若井さんが1位に...P9
- 村誌編さん室だより...P10
- ふるさとへの便り...P11
- けいじ板はP7の下欄

限りある資源を大切に

みんなで考えよう 省エネルギー

石油、電気、ガス—これらのエネルギーなしには、わたしたちの暮らしは一日たりとも成り立たないといってもいいでしょう。

とくにわが国の場合は、産業・輸送・民生すべてのエネルギーの需給約七割を石油でまかなっており、その石油の九九・七割は海外から輸入しています。わたしたちの暮らしを支えるエネルギーは、そのほとんどを“輸入石油”に依存しているのです。

資源に乏しいわが国としては、文字通り一滴たりとも石油をおろそかにできません。今回は、最近のテレビ・新聞などで広く報じられている省エネルギーをテーマに特集しました。どこにでも、だれにでも関係のあるテーマとして、皆さんにも深い理解と協力を願います。

八〇%を中東地域に依存

石油の総輸入量

わたしたちは多くのエネルギーを消費し、快適な暮らしをしています。このエネルギーが輸入されなくなったらいったいどうなるのでしょうか。

エネルギーは、限りある資源です。ですから、いずれはなくなってしまうことは必然で、現に資源の食いっつきが始まっているといわれます。しかし、今、問題となっているエネルギー危機は、これまでのようにいつでも必要なだけの数量が自由に、また、安価で手に入ることができないということなのです。

もう一つの理由は、現在、石油の産出国はサウジアラビア・イランなどの中東諸国が中心となっており、わが国の石油総輸入量の八〇%近くがこの中東地域に依存していることです。

これらの産油国は、OPEC(石油輸出機構)を結成し、生産量・価格などの決定権を握り、石油を政治や経済政策の重要な柱として利用しているわけです。その最も顕著なのが一九七三年十月にぼつ発した第四次中東戦争であり、親イスラエル国への輸出禁

止・産油量の制限・価格の一挙四倍という大幅引き上げなどを行い、世界経済をインフレと不況の

ケチケチ運動とは違う

省エネルギー運動

そこで、政府が打ち出した省エネルギー対策が必要になってきました。

省エネルギーといえは、使いたくとも使わずにがまんするとか、ケチをするとか暗いイメージを連想しがちですが、省エネルギーとは何があんでもエネルギーの消費をへらすということではなく、必要なものは使いつつエネルギー消費のムダをなくし、エネルギー

多量に消費する生活から「限りある資源をムダなく有効に使う生活」への転換を図る必要があるといえましょう。

省エネの主役はあなた

エネルギーを必要とするものはわたしたちの身のまわりにたくさんあります。

一日の日課を順を追ってみますと、まず、朝起きて歯みがき、午前中には洗たく、掃除、そして夕方には夕食の準備に冷蔵庫を開けガスコンロなどに火をつける。夕食後には、当然照明器具が必要になりますし、テレビ、風呂などエネルギー消費につながるものばかりです。

そのほか、通勤やレジャーで自家用車を使用する人は燃料を消費しているわけです。

日常、なにげなく使っているエネルギーも、それぞれの心がけしだいで節約できます。そして、その主役はあなた自身なのです。



△わたしたちに最もかわりの深いガソリンも心がけし
だいで節約することが…。
— 農協給油所で —

ガソリン

こんな「ムダ」を
していませんか

車の経済速度は
トップギアで四〇
〜六〇km。高速で
は八〇km。八〇〜
一〇〇kmに速める
と約一五%余分な
燃料を消費しま
す。
また、駐車して
いるときエンジン
をかけたままにして
いると、一分間で約一〇〜一五cc、中型車で
十分間一六〇ccの燃料を使いま
す。これで約二・六km走れます。
そのほか、用もないのにか
かしをしている車をよく見かけま
すが、このからぶかしは一回につ
きガソリン約五ccのムダになりま
す。
ガソリンの節約はもちろん、交

通安全のためにも経済速度で安全
運転を。



洗たく機

洗たくものは、洗
たく機一回分の量を
まとめて洗いましょ
う。洗たく機が効率
よく使えます。量や
汚れによってタイマ
ーを上手に使えば、
ムダな水や電気を使
わなくて済みます。
また、洗ったあと
脱水してからすすぎにかけると電
気・水の節約になります。脱水は
二度手間ですが、すすぎのための
電気使用時間は約五分間短くなり
ます。

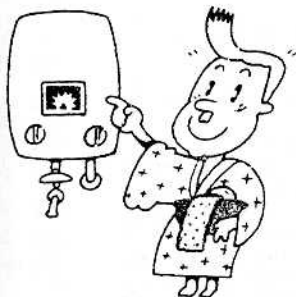
洗たく機の消費電力のほとんど
は、水を回すためのエネルギーで
す。



掃除機

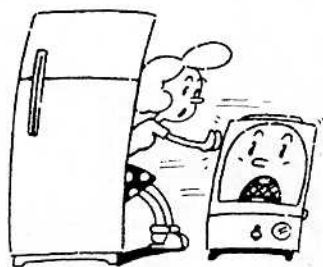
中にゴミがたまっていると吸引
力が低下し、それだけ時間がかか
ります。こまめにゴミを捨てるな
ど掃除機の掃除も大切です。
また、大きなゴミはあらかじめ
拾うなど掃除時間を短くする工夫
もお忘れなく。





ガス

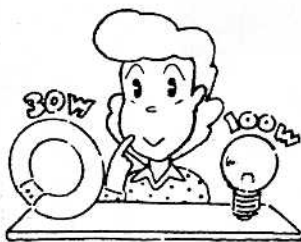
一日五時間、湯沸かし器の口火を消し忘れたままにしておく、一か月で風呂を三回沸かせるだけのガスをムダにすることになります。



冷蔵庫

ドアを一回開閉すると、庫内の空気の三分の二が外気と入れかわります。部屋の中が摂氏三〇度のときは、十秒間開けると五〜六度も上がります。そのたびにモーターが回り寿命も短くなります。また、暖かいものの近くや直射日光をさけ、風通しのよいところに設置し、うしろと両側は十五センチくらい、上は三十センチくらい空間をとると熱がこもらずムダな電気を消費しなくて済みます。

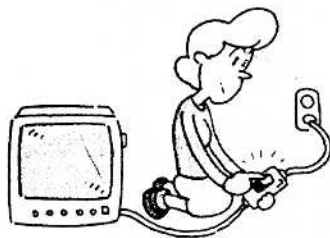
照明



白熱灯一〇〇Wとけい光三〇Wはほぼ同じ明るさです。上手に使い分けてください。

テレビ

プレヒート(予熱)による時間受像)型テレビは、いつも五〜七Wの電気を消費しています。現在普及しているテレビの七〜八割はこの型です。雷の発生する時期になりましたから、節電と故障防止のためにも見ないときはコンセントから抜くよう心がけてください。



としたイメージになっています。そのため、日中は窓ぎわ電灯は消灯されています。

これは、ほんの一例です。冬期には電気こたつやストーブ。夏には扇風機やクーラーなどを使用されるご家庭もあると思います。が、それぞれの家庭でいろいろなアイデアを生かし省エネ運動にご協力ください。小さな節約も集まれば大きな節約になります。さっそく今から皆さんのご家庭でも小さなムダ追放を始めてみてください。

- そのほか、村でも皆さんにご協力をお願いするだけではないけないと、役員職員を対象に「省エネルギークエスト」を実施し、その結果から次のような実践事項を決め、できる範囲内で実行に移しています。
- ①出張時の車の相乗り
 - ②通勤時の車の相乗り
 - ③事務室の採光をよくして、節電を図る
 - ④不要電灯の消灯の励行
 - ⑤退庁後の節電

窓ぎわにあった戸籍簿耐火保管庫を移動し、採光効果を上げたことで以前よりずっと明るくすっきり



▷省エネのため模様替えされた役場受付内部

7月21日～8月20日

夏の交通事故防止運動



正しい交通ルールの実践を

夏の全国交通事故防止運動は、七月二十一日から一か月間行われます。

ことしは「ゆずりあう心で夏の事故防止」をスローガンに、また①歩行者および自転車利用者、特に子供と老人の交通事故防止②過労運転、飲酒運転などの防止③シートベルトおよびヘルメット着用の推進を重点に運動が進められます。

夏は、暑さからくる疲労や、夏休みに入るため家族連れでのレジャーなど交通事故の多発が予想されますが、一人一人が自覚をもって正しい交通ルールを実践するよう心がけてください。

△シートベルト着用と安全運転を呼びかける
交通安全協会役員ら一中学校前バイパスで

歩行者・自転車の事故防止

- ◎地域では：
 - ▽パトロールの実施、街頭補導など保護活動を強化する。
 - ▽雑草の除去、カーブミラーの清掃など交通環境の整備を図る。
- ◎家庭では：
 - ▽母親が正しい交通ルールの手本を示し、わかりやすく子供を指導する。
 - ▽家族の外出には、必ず愛の「ひと声」をかける。
 - ▽夜間の外出には、必ず夜光ダスキなどを着用させる。
- ◎自転車利用者は：
 - ▽体にあった自転車の利用と、車体の点検整備（ハンドル・ブレーキ・ライトなど）を励行する。
 - ▽夜間、無灯火の防止と反射器

過労・飲酒運転の防止

- ◎地域では：
 - ▽道路の主要箇所、ドライバーに過労・居眠り・飲酒運転の防止・シートベルトの着用などを呼びかける。
- ◎家庭では：
 - ▽早めに準備し、ゆとりをもって送り出す。
 - ▽酒を飲んだ家族や来客には絶対、車の運転をさせない。
 - ◎職場では：
 - ▽過労運転、過積載、スピード違反などを誘発させるような無理な運行計画をたてない。
 - ▽飲酒運転を職場ぐるみで追放する。
- ◎運転者は：
 - ▽「ゆとり」と「ゆずりあい」の運転を励行する。
 - ▽「無車検」や「無保険」の車を運転しない。
 - ▽飲酒運転を絶対しない。
 - ◎酒類提供業者は：
 - ▽酒類を飲んだお客には絶対車を運転させないことを徹底する。

シートベルト着用 ヘルメット推進

- ◎家庭では：
 - ▽車で出かける家族に「シートベルトをしめて（ヘルメットをかぶって）安全運転でね」と声をかける。
 - ◎職場では：
 - ▽公用車、私用車を問わず職場ぐるみでシートベルト・ヘルメットを着用する習慣をつくる。
 - ◎運転者は：
 - ▽いつでもどこでも必ずシートベルト・ヘルメットを着用する。
 - ▽同乗者にも必ず、シートベルト・ヘルメットを着用させる。
- ◇ 春の運動中に行った「シートベルト着用状況調査」の結果では、調査台数百三十八台のうちシートベルトを着用していた車は七十台（五〇・七％）という値がでました。
- この中で、とくに注目したいことは、一般的に簡単にセットできる二点式のシートベルトをしていない人が多かったということです。
- 「外からは見えないから」「めんどろだ」「窮屈だ」という人もあるでしょう。いずれにしても、シートベルトは自分自身を守るためのもので、今一度認識を新たに、習慣づけるようにしましょう。

国際児童年の
シンボルマーク



国際児童年 1979

大人顔負けの内容ずらり

東白川村少年の主張大会



力強い意見発表が行われた村民センター大会議室

国連で「児童権利宣言」が採択されてから、ことしてちょうど二十年目に当たりますが、これを記念してことしを「国際児童年」とすることに決まりました。

「子供は民族の宝、世界の宝」という考え方になって、国際児童年を機に児童問題についての認識を高め、いま子供たちがほんとうに幸せなのかどうか、子供たちをとりまく生活環境はこれでいいのかなど、それぞれ関心を高めて行こうという年です。

これにちなんだいろいろな行事が全国的に計画されていますが、本村でもその一環として、去る六月十六日午後二時三十分から村民センターで「少年の主張大会」を開催しました。

この主張大会は、子供たちの考えていることを父兄はもちろん、一般の人たちにも知ってもらおうと教育委員会が主催して開いたもので、大会には、各小学校から二人ずつの六人と、中学生四人の合わせて十人の代表者が参加し、自分たちの考えている意見を力強く発表しましたが、高度な内容のものも多く、大人顔負けの感じがするものばかりで関係者や聴衆をおどろかせていました。

とくに小学生の部では「少年として訴えたいこと」と題したものが多いとどでしたが、その内容は「郷土を美しくして行きたい」、「人口を増加させ、若者が定着できるように」——これには、働く場の確保が必要であり、自分たちが中学や高校を卒業したのち、村に

帰って働けるような条件を整備してほしいというような意味が込められていました。

中学生の部では、こうした村の発展を——という意見のほか、自分の将来への希望や最近話題になっている「省エネルギー」をとり上げたものもあり、時代にマッチしたテーマという感じがしました。

◇

審査は、各学校の校長・教頭が担当され、内容七十点、態度十点、声量二十点の計百点満点法で行われた結果、次の二点が選ばれました。

なお、入選した二人は美濃市で行われるアロク大会に本村代表として参加します。

小学生の部

「少年として訴えたいこと」
神土小六年 山中由希

中学生の部

「世界の友だちに幸せを」
東白川中二年 桂川容子
(陰地)



山中由希さん



桂川容子さん

一般の皆さんを対象にしたこのような催しは、今回が始めての試みでしたが、村民センター大集會室には一般、子供、東白川村民會議会員ら百人余りが集まり、熱心に聞き入っていました。

皆さんがこの大会に寄せられた「関心」を足がかりとして、今後は「理解」へと深めて行ってほしいものです。

主役はあなた

社会を明るくする運動 七月一日～三十一日

今年も法務省が主唱する「社会を明るくする運動」が、七月一日から一か月間全国一せいに実施されています。

この運動は、すべての国民が犯罪の防止と罪を犯した人たちの更正についての理解を深め、非行のない明るく住みよい地域社会を築くために力を合わせて行こうというものです。

ですから、単に非行防止の呼びかけだけでなく、あなた自身にこの運動の主役の一人になっていただき、あなたの手で地域社会にひそんでいる非行や犯罪の原因を発見、そして、取り除いて行くという姿勢を持ってほしいという願いが込められています。

非行化の陰にある

好ましくない環境

最近の青少年非行は、女子少年や中学・高校生によるものが著しく増加しており、その多くはごく普通の家庭の少年によって行われています。

万引き、窃盗、シンナー遊び、それに女子生徒による性的非行など、刺激的、享乐的なものが多く、そして増加しています。

これらの傾向は、刺激的な出版物や映画などのはんらん・学校や家庭、職場などでの人間関係の希薄化・住民の連帯感の喪失傾向など、青少年にとって好ましくない

生活環境が背景にあるといえるでしょう。

そこで、地域に根ざした活動を積極的に進める必要があり、本村でも陰の力となってこの活動を盛

BBS会員の皆さん



日 向 伊藤保夫君 平 村雲陽司君 陰 地 松岡安幸君

保 護 司



松岡正平さん 河田勘市さん

犯罪や非行をした者に対して、一定の尊守事項を課し、それを遵守するよう指導するとともに必要

り上げている人たちがいます。ここで、その皆さんを紹介しま

B B S

「BBS」あまり耳慣れないことばですが、BBS運動 (Big Brother and Sister movement)

とは、不幸にして非行に陥ってしまった少年たちの「ともだち」となって、彼らが立ち直ろうとするのを援助したり、自分たちの属している地域に対して青少年の保護や非行防止に関する理解、協力の働きかけを行うものです。

こうした活動により、非行のない明るい社会の建設を目指す青年ボランティアたちの運動で、岐阜県BBS連盟が発足してもう二十八年になります。

に応じて補導援護するなど、社会生活を営ませながら、その改善更正を図ろうとするのが保護観察制度です。

保護司は、その保護観察と犯罪防止に従事するボランティア(社会事業に無給で働く人)であり、また、法務大臣から委嘱を受けた非常勤の国家公務員です。

本村では、西洞の河田勘市さんと陰地の松岡正平さん(写真)が保護司として活躍されています。

BBSは全国的な組織を持ち、保護司の活動に協力し連携を保ちながら活動を行っています。

本村では、写真の三人が加茂地区BBS会の会員として昨年から活躍を始めました。現在は役場職員ですが、今後は青年団などへも呼びかけ、その輪を広げて行く必要があると思われま

このように、地域から非行や犯罪を出さないようにと活動を行っている人たちがありますが、激しく揺れ動く社会情勢の中で少年たちは今、何を考えているのか。

「自分の子供に限って」と安易に考える前に、少年たの立場に立って今一度家庭のあり方を見つめ、親子の対話をより深め、各家庭が進んで住みよく明るい家庭づくりを考えてみる必要があるといえま

戸籍の窓 (六月)



いつまでもおしあわせに

兼松 悟 (平) 安江つた子 (日向)



おくやみ 申しあげます

安江 ち多 84歳(宮代) 近藤 明 75歳(柏木) 小池こぎん 87歳(中谷)

■善意の寄付—敬称略—

- (神戸保育園へ)
- 整理箱四箱—神戸 安江建築
- ノート四十冊—平 沢木きしの
- 竹ぼうき五本—老人クラブ寿会
- そうきん百枚—神戸婦人会
- ヤクルト二百四十本—平 榎間一吉
- 牛乳 八十本
- (東白川中学校へ)
- そうきん百枚— 神戸婦人会
- スリッパ二十足
- 竹ぼうき三十本—老人クラブ寿会
- (五加小学校へ)
- そうきん四十九枚—五加婦人会
- (その他)
- カーブミラー—基

—東白川村青年団

大活躍の本村勢

第23回加茂郡体育大会

第二十三回加茂郡体育大会は、七月一日と八日に八百津町で開かれました。

この大会は、郡民にスポーツを振興し、その普及とアマチュアスポーツ精神を高めてそれぞれの健康増進と体力の向上、それに明るく豊かな生活を目的とし加茂郡体育協会主催で毎年行われているものです。

七月一日はあいにくの雨天で、本村からはバスケットボール・バレーボール・卓球・クレイ射撃の四種目、また、八日にはソフトボール・剣道・テニスの三種目に出場しそれぞれ優秀な成績をあげました。

本村の成績は次のとおりですが本号では、大活躍した皆さんをカメラの目でとらえてみました。

□本村の成績

優勝 バスケットボール 一般男子

卓球 一般女子

家庭婦人A

三位

クレイ射撃

ソフトボール一般男子

四十歳以上男子

バレーボール一般男子

卓球一般女子

剣道青年の部

個人

クレイ射撃

中島克己

松岡重治

準優勝

バレーボール

一般男子

対川辺町戦

田口克人君のシュート

決まる

連続優勝記録を9と伸ばした

バスケットボール一般男子

対川辺町戦田口克人君のシュート決まる

健康むなしく敗れたバレーボール家庭婦人の部
対坂祝町戦
八百津高体育館で



バレーボール一般女子

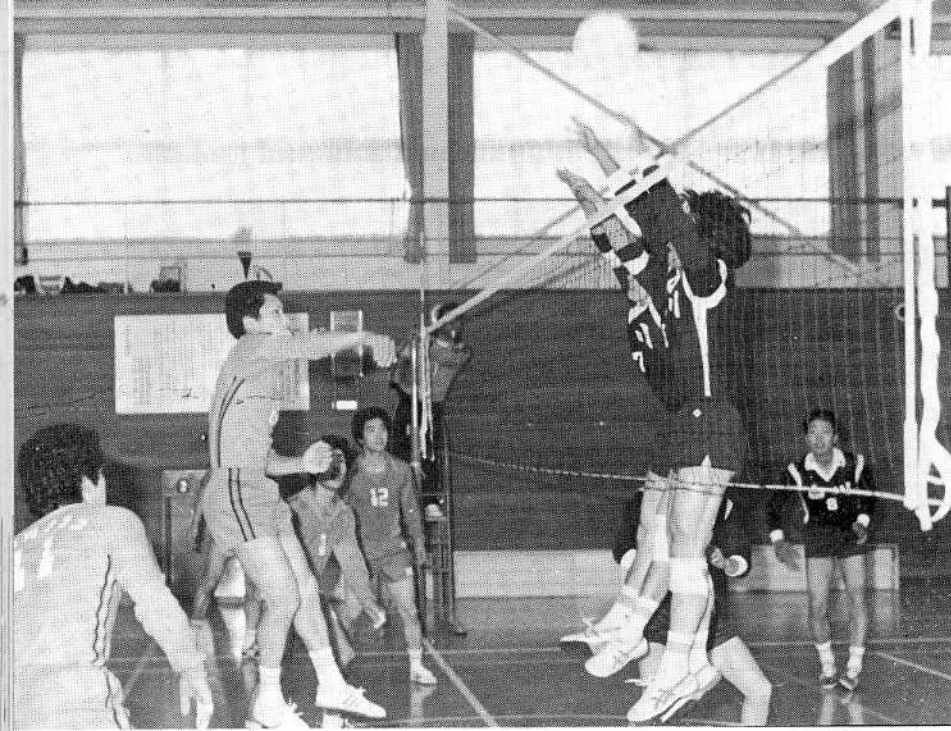




三位入賞したバレーボール一般男子

対白川町戦早瀬政広君のスパイク決まる

△和知中体育館で



△初出場で優勝した

△錦津小体

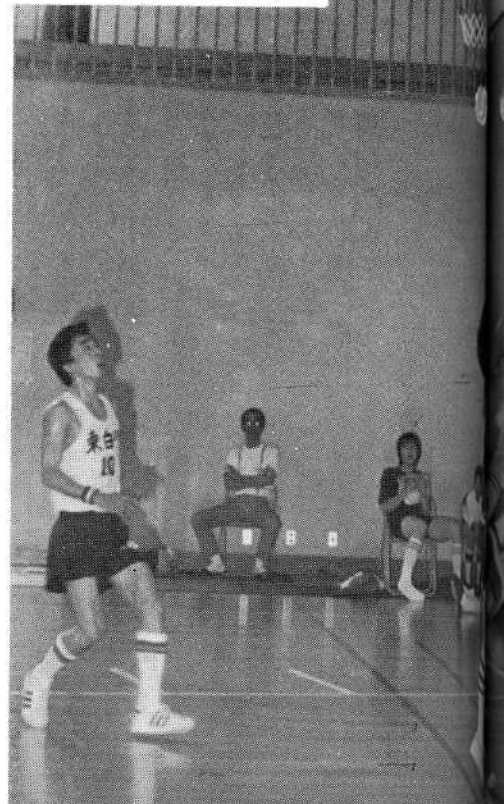


3位入賞を果たしたソフトボール

40歳以上男子(上)と一般男子(下)

△八百津中グラウンドで
—対富加町戦

▽八百津高グラウンドで
—対八百津町戦





健康は自らの手で 年一度のチャンス

△ 村の成人病予防検診の重点である保健指導
— 昨年の村民センターでの検診から

ことしも健康を確かめる、成人病予防検診の時期がやってきました。

最近では、「健康は自らの手でつかむもの」ということが認識され、健康づくりのムードが全国的に広がっています。

本村では、この健康づくりの一年の環として成人病予防検診が始められて、ことしで二十年になります。地道な活動ですが確実に住民の皆さんの中に浸透し、少しずつ受診する人が増えてきています。

ことしも八月に予防検診

ことしも、八月二・三・四・六

七・八日の六日間、岐阜大学衛生学教室・成人病予防推進員らの協力を得て村内十三会場で成人病予防検診が行われます。

対象者は、満三十歳以上で、昨年の検診の結果異常なしの判定を受けた人、転入者などで該当する人へは成人病予防推進員を通じ、各世帯ごとに受診票が配られます。



本村の成人病予防検診の特徴は、保健指導に重点がおかれ、毎年の結果を総合的に評価し健康な状態が維持されているのか、健康をそこないかけているのかどうかなどを判定したうえで、それぞれの状態にあった健康相談、指導を行っていることにあるといえます。

検診を契機に

日常生活の見直しを

検診に参加し、それぞれが健康状態を知ることには自分にあつた生活を見直すこととなります。日常生活を見直し、自分の体にあつた正しい生活が続けることが「健康を自らの手でつかむ」ことになるのではないのでしょうか。

お忙しい人もあるとは思いますが、年に一度のチャンスです。ちよつと仕事の合間をみて出かけてはいかがでしょうか。検診は皆さん自身のためにある

ものです。一人でも多くの方がこの検診を受けられ、安心して毎日

を過ごしていただけたなら…。と願ってやみません。

家庭の健康は主婦の手で

食生活改善推進協議会

「スポーツで体を鍛え、

各種の検診で健康をチェックすることも大切ですが、何よりもまず食事が基本ではないでしょうか。」と、東白川村食生活改善推進協議会では、年十回余りの講話と料理講習会を通じて成人病予防、虫歯予防などを主にした「家庭の健康は主婦の手で」という呼びかけを行っています。

▽ 村民センターでの料理講習会の様子



その主なものは、成人病予防で①白米食はさげ、麦ごはんを食べよう②白砂糖を少く③塩分はひかえめに、一味うすく、虫歯予防では、おやつはお母さんの手づくりで規則正しく—などです。



先ごろ村民センターで行われたことし二回目の料理講習会に、各地区の推進員四十五人が参加。加茂保健所栄養士と村の保健婦指導のもと「夏の健康法と食事について」熱心な学習をしていました。

また、推進員の中には成人病予防推進員を兼ねている人も多く、予防検診時には血圧測定・検尿など直接検診のスタッフとして参加するなど、活発な活動を続けています。

村ではこうした気運をさらに高め、将来は村独自のスタッフだけで成人病予防の検診体制を作っていくと検討を進めています。

母子センターで

千人目の赤ちゃん誕生

去る六月十四日、村の母子健康センターで開所以来千人目の赤ちゃんが誕生しました。

この赤ちゃんは、お隣りの加子母村出身で現在大垣市にお住まいの中川直美さんの長女で、真由美ちゃんと名付けられました。村ではこの千人目の赤ちゃん誕生

生の記録達成にちなみ、六月十九日の午後から母子健康センターで祝いの式を行いました。

この式には、開所第一号の安江敏之君（神戸小五年、平、安江秀太郎さん長男）と母親の銀子さん親子を招き、村の関係者らの見守る中、敏之君と中川さんに村長か



△母子センターでの誕生第1号の安江敏之君（右端）と1,000人目の中川直美さん親子—母子健康センターで

ら祝いのことばと記念品が贈られ、用意したジュースで乾杯しました。母子健康センターが開所されて十一年目、分娩件数は昭和四十七年まで横ばいがないしや増加の傾向を示しました

が、この年の百二十二人をピークに少しずつ減少し、昭和五十二年度は開所当時の約半数しかありません。とくに、村内の人の分娩件数は当初の約三分の一と落ち込んでいます。この原因には、出産年齢層にある若者の減少などが考えられます。

このように、分娩件数が減少したことに加え運営経費も年々上昇しているため、母子健康センターの運営は苦しい状況ですが、過疎化の進むこの村にあって、なくてはならない施設の一つであることは言うまでもありません。

こうしたなかで、今回の千人目誕生は関係者に明るい光を投げかけました。



暮らしと健康

ランニングは、今では世界じゅうでブームになっている健康法です。

これは、体力の低下を防ぎ成人病を予防するのに最適とされています。それは：

- ① 足腰を鍛えて疲れない体を作る
- ② 心臓と肺の機能を高める
- ③ エネルギーを消費するので、肥満を防止する

健康づくりは持続が勝負

健康づくりにつながる運動にこれといった特定なものはありません。要は毎日コツコツと運動を続けることです。

ランニングを続けるには、自分のペースで走ること、マラソンランナーのようなつもりで走ると息切れをしないで走ります。走り始めはゆっくり、距離は短く、一回一回のランニングは目標に到達した満足感を味わうことです。

適切なスピードを知る

走るスピードは、ランナーの体力・経験によって差があります。自分に適したスピードかどうか簡単に知る目安は

- ① 呼吸がはずんでも苦しくない
- ② 走りながら会話ができる
- ③ 運動後の脈拍は、百二十〜百三十くらいである

走る距離は

ランニングの距離は、翌日疲労が残らない程度にしてください。無理のないスピードでトレーニングの効果をあげるためには、十五分以上（約三キロ）走る必要があります。一回の走行距離は体力にあわせて三十〜四十キロが適切でしょう。

運動…その4

週何回走ればよいか

どんな運動でも効果をあげるためには、最小限週一回の実践が必要です。また、最高限度は一日一回です。

ランニングは、食後をさければいつでもかまいません。単純な運動ですが、距離がのびたこと、野や山の季節の移り変わりなど楽しみをみつけながら続けてみてください。

似てるかな

加茂郡よい歯の児童コンクール

若井さんが1位に

郡代表として県へ出場



若井佳子さん

六月二日、美濃加茂市の産業文化会館で開かれた「歯の優良児童加茂郡大会」で、本村神土小学校六年の若井佳子さん（平・若井新一さん二女）が女子の部で一位に選ばれました。

また、同じ女子の部で越原小学校六年の安江智子さん（日向・安江吉さん長女）が三位に、男子の部では神土小学校六年の安江洋輔君（上親田・安江将一さん長男）が三位に選ばれました。

一位に選ばれた若井さんは、岐阜県歯科医師会・岐阜日日新聞社・岐阜放送が主催し、今月開かれる

県のよい歯の児童コンクールに加茂郡代表として出場することになりました。

若井さんに「よい歯にするためにとくに気をつけていることはありますか」と伺うと「わたしは幼児期に虫歯で悩みました。そして、放っておいても永久歯にはえ変わるから」と思っていました。が、あとからはえてくる歯のために治療することが大切だと聞きました。それから、虫歯にならないように甘いものはさけ、また、口の臭いに注意してきました」と語ってくれました。

小さな子供さんのある家庭では甘いものをむやみに与えたりしないよう心がけ、一人でも虫歯のない子供が増えるよう家族みんなで考えてみてください。

わたしのおとうさん

神土小2年 古田 恵美
大口 古田 武さん 二女

わたしの、おとうさんは、いつも、こうばで、かぐをつくるしごとをしています。

いろいろな、かぐをつくります。きずもののできたときは、わたしたちにくれます。おとうさんは、やさしいと、おもいます。

けがをしても、なかないし、しごともある。おとうさんは、すごいなあ。

暮らしのカレンダー

※第1学期終業式

- ・とき 7月20日
- ・ところ 各小・中学校
- 一21日から夏休みになります。
- 交通事故・水の事故に注意して楽しく過ごしてください。

※子供会インリーダー研修会

- ・とき 7月22日
- 午前8時～午後3時
- ・ところ 村民センター 総合運動場
- ・対象者 小学5・6年生

※青年団・婦人会交換会

- ・とき 7月25日午後7時～
- ・ところ 体育館
- 一青年団が主催しレクリエーションなど行います。婦人会の皆さん、多数ご参加ください。

※血糖管理予防教室

- ・とき 7月24日
- 午前8時30分～11時30分
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 血糖管理予防教室グループ生

※成人病予防検診

- ・とき 8月2・3・4・6・7・8日
- ・ところ 村内13会場
- ・対象者 前年度の検診結果で異常なしの人、満30歳になった人、転入者

※岐阜県消防操法大会

- ・とき 8月5日
- ・ところ 益田郡萩原町
- 一本村の第1分団自動車ポンプが加茂郡代表として出場します。

※子供会ソフトボール大会

- ・とき 8月12日
- 午前8時30分～
- ・ところ 総合運動場
- ・対象者 小学校4年生以上がチームを編成し出場します。

※乳幼児学級

- ・とき 8月16日
- 午前9時～正午
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 0～3歳児をもつ母親

※フッソ塗布

- ・とき 8月17日
- 午後1時30分～
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 乳歯のはえ始めから3歳児までの希望者、塗布手数料はひとり1回500円。

民俗風俗あれこれ

社会生活



一村誌編さん室だより

戸主権・相続 (二)

家の相続には、財産相続・家名相続・身分相続などいろいろ分かれるが、一般に家督相続と呼ばれていたものは、武士では、世禄、一般庶民では家産を相続することであった。

そして、普通長男をもって相続人とするのが社会の慣習になってくると、長男はソウリョウ(惣領)として特別扱いにされ、次男以下はオジボウズ(叔父坊主)と称して軽視されがちであった。

その反面、長男は父祖の霊を祀り、弟妹たちのめんどうをみる責任を負っていた。しかし、長男は必ずしも相続人の適格者とは限らず、多少のろまでも長男であるために家を継いだので「惣領の基六」という言葉さえ生まれた。生まれおちるからして家督を継ぐべく身分が安定しているためか温順な性格の持ち主が多かったからであろう。

戸主が年老いて、一家の首長と

しての任に耐えなくなると相続人に戸主の座を譲って隠居するが、

隠居制の一般形式は母家に長男夫婦を住ませ、親は別棟の隠居家に移り住むのであるが、この村では独立した隠居家を持つのはごく一部の資産家に限られていた。

隠居は、世間に対しては戸主権を相続人に譲ったわけで、対外的な代表権はないが、家の中では家族の精神的結合の中心であり、佃戸裏のヨコザ(横座)は、戸主になった相続人でさえ隠居の生存中はその座を侵すことはなかったようである。



戦後制定された新民法では、戸主 家督・隠居などの言葉は消えて、戸主は単なる戸籍筆頭者・世帯主となり、相続も遺産相続だけとなったが、この村のような山村では実質的には大きな変化はない。

桂川助役・小池収入役が退任

新収入役に安江公平氏

去る七月六日に開かれた村議会定例会で、任期満了になる助役・収入役退任の件は、助役についてはその職を置かないという新しい条例を設けることが議決されました。

また、収入役には安江公平氏が新しく選任に同意されました。その結果、桂川助役と小池収入役の両氏は七月十一日の任期満了により退任されることになりました。

桂川助役は、昭和三十八年七月新進気鋭の士として助役に就任されて以来、四期十六年間、河田前村長・安江現村長のよき女房役として本村自治発展に貢献された功労が大きく、今回の退任が惜しまれています。

また、小池収入役は昭和十五年十月に村の職員として就職以来今日まで、四十年間の長きにわたり奉職され、その間収入役六期二十

四年間を努めるなど戦前戦後にわたって本村の行政発展に貢献され、村の至宝的な存在として村民の信望がきわめて厚く、その勇退が惜しまれます。

なお、就任が決定した安江収入役は、総務課長、企画広報課長など重要なポストを歴任し今回選任されたものです。

地方自治法第六十一条第二項

「市町村に助役一人を置く。ただし、条例でこれを置かないことができる。」

東白川村条例第二十号

東白川村助役を置かない条例

地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第六十一条第二項ただし書きの規定に基づき、東白川村に助役を置かない。

▼今月の料理▲

ピーマンとちりめんじゃこのいため煮(四人分)

材料

ピーマン一八個、ちりめんじゃこ一二十号・油・みりん各大きじ一・しょうゆ一大きじ一杯半
作り方

①ピーマンはへたと種を除き縦半分に切り、さらに端から一

センチ程度の幅に切りそろえる。②鍋に油を熱しピーマンを入れ、油がまわる程度にいためたら、ちりめんじゃこ、水百cc、しょうゆ、みりんを加える。約十五分煮て煮汁がなくなったらところで火を止める。

カボチャのごま風味煮

(四人分)

材料

カボチャ一六百号・さいいんげ

ん一五十号・白すりごま一大きじ三杯弱・砂糖一大きじ三・塩一小さじ一・しょうゆ一大きじ一・みりん一大きじ一杯半
作り方

①カボチャは一口大にし皮をしま目にむき、水三百ccを鍋に入れて火にかけ、煮たったらごま砂糖・塩を加えて約十分弱火で煮、みりん・しょうゆを加えてさらに十分煮て器に盛る。ゆでて二つ切りにしたさいいんげんを残り煮汁でさつと煮て盛り添える。

ふるさとへの便り



自分で選んだ道だから

つらくてもがんばりたい

拝啓

東白川村の皆さんお元気で過ごしですか。

先日は東白川広報を送っていた下さりありがとうございました。

月日の流れは早いもので、ふるさと「東白川村」を離れてもう三か月が過ぎました。入社したころは何もわからず、仕事場でも、寮でも、学校でもとまどうばかりでした。

いやなことがあるといつでも、東白川のことを思い、「早く家へ帰りたい」いつもこればかり口にしてました。

私にとって寮での生活は、少しも楽しいものではありませんでした。中学時代の友だちがいてくれたらなあー。なんて思いながら部屋に閉じこもっている日が多くなってきました。

ここへ来て、もう、今までと同じ部屋の先輩に二回もお説教されました。「一年生だけが個立している」と何度も言われ、毎日がつらくてたまりませんでした。仕事で、注意されたことやいや

つばいの住みよい村であってほしいと思います。

最後に：

私たちはもう社会に飛びたちました。これから先、どんなつらいことがあっても、もう前のように親ばかりにたよってはいられません。社会人としてはずかしくないようにがんばって行きたいと思えます。

東白川の皆さんもお元気でがんばってください。

さようなら

岐阜市太郎丸北郷二六八一—

マルイ縫製内 田口みはる

— 神土中谷 田口正直さん

二女—

係から

今回は久しぶりに「ふるさとへの便り」をいただきましたから、トビックス欄(前回までは村の文化財)を休み掲載します。

係では、こうした村外からの便りのほか、村内の皆さんから「日ごろ感じていること」、「本を読んだこと」、「テレビ番組をみて思ったこと」などの寄稿をお待ちしています。

四百字詰め原稿用紙一枚半程度にまとめ、役場企画広報課へお寄せください。お待ちしております。



あなたの作品をお寄せ下さい
・初心者、特に若い人達の投稿を歓迎します。
・毎月末までに神土田口良三宛に出して下さい

笑顔も心を売れと説き給ふ尼僧の教へ商人の集ひに

紅ふかく爪つま白の花いとしきにへくそかつらと誰が言ひ始めし

さつき展跡片付けの庭の上受賞の花も色あせて散る

初夏の空青く澄み山蔭に小綬鶏鳴けりおどけし如く

軒先の紫陽花今日は久々の雷雨に濡れて青き色冴ゆ

稚茸となめこの柗木打ち終へて疲れは言はず妻と屋簷す

夕立の眼にまで来るか雲低く小暗き午後はサンダラス外

巣立ちたる子燕は雨に濡れながら帰りに親と並び宿れる

さつき展出品幾種とりどりの花揺れゆけりトラツクの上に

玄関に咲き誇りたる石楠花も萎み白けぬ屋の日差しに

早起きの犬と散歩の山蔭に母に手向けん笹百合咲けり

泉岳寺四十七士の御墓前に絶ゆることなき香煙を思ふ

予想外の市場価格を胸にして霜で遅れし茶畑見廻はる

手の平に桑の匂ひの浸み居ればふとためらひつ孫を抱き上ぐ

掌を見つめ不思議に思ふなり七十年をよく減りもせず

勝ち負けは相撲のごとく爽かに村の平和を築きゆくべし

勝ち負けは相撲のごとく爽かに村の平和を築きゆくべし

らちもなきグラモキシソンの枯れさまの中の緑のごとく生きむ

田口良三

宮代 三戸 光男

古田 米子

今井 伊藤 重雄

伊藤 村雲 伝三

早瀬 勇造

小池いちの

今井 惣十

安江 守平

早瀬 香

安江 幸

加藤 公一

山川 冽

神土 山川 冽

神土 山川 冽

神土 山川 冽

神土 山川 冽

神土 山川 冽